

講義名	生徒・進路指導論【教職に関する科目】		
科目区分	教職に関する科目		
担当教員	川合 宏之		
開講期・曜日・時限	後期 水曜日 1時限		
	2018年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2018年度 人間社会学部 観光学科 / 2018年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2018年度 経済学部 経済情報学科 / 2018年度 経済学部 経済学科 / 2018年度 商学部 マーケティング学科 / 2018年度 商学部 経営学科 / 2017年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2017年度 人間社会学部 観光学科 / 2017年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2017年度 経済学部 経済情報学科 / 2017年度 経済学部 経済学科 /		
履修開始年次	2年生	単位数	2
		講義コード	31046

主題と概要

本授業では、学校教育の全領域における生徒指導、進路指導の原則と指導方法を検討し、学校教育における生徒指導のあり方を探求する。生徒指導について深く理解できるよう、時事的な話題を盛り込みながら、様々な問題と課題および実践的方法を紹介する。
特に、学校現場における問題行動、いじめや不登校等の現実的な課題、並びに近年進路指導の中核となりつつあるキャリア教育の意義と課題等について、事例研究をもとにした授業を展開し、その要因や原因を的確にとらえらるとともに、具体的な対応策、指導の在り方などを学ぶ。

到達目標

本授業は、高等学校教諭一種免許状を取得するための必修の科目である。学校教育の全領域における生徒指導と進路指導の理論と指導方法を検討し、学校教育における生徒指導・進路指導の在り方を探究する。

- 生徒指導（進路指導を含む）に関する意義・原理と課題・基礎的な概念、生徒理解の方法などの知識を理解し、習得することを目標とする。
- さらに具体的な指導場面に即した適切な生徒指導・進路指導の方法と事例を理解および習得することによって指導を実践できるような資質能力を身につけることを目標とする。
- またキャリア教育の意義と必要性についても学ぶことを目標とする。

提出課題

授業時に指示する。

評価の基準

課題レポートおよび提出物（50%）、授業への参加度・積極性（50%）により総合的に評価する。

履修にあたっての注意・助言他

- 教員を目指す者が受講する科目なので、遅刻・無断欠席は認めません。
- 積極的に発言し、受け身の授業にならないようにしてほしい。

教科書

.使用しない。

プリント資料及び参考文献

「高等学校学習指導要領 総則編」（文部科学省）
「高等学校学習指導要領解説 総則編」（文部科学省）
「生徒指導提要」（文部科学省）
「高等学校キャリア教育の手引き」（文部科学省）
河村茂雄編著「生徒指導・進路指導の理論と実際」（図書文化）

授業計画

第1回：生徒指導の意義と役割
第2回：教育課程での生徒指導の生かし方
第3回：生徒指導の方法（教師と生徒の人間関係づくり）
第4回：教育相談理論と方法（生徒指導と教育相談）
第5回：問題行動に対する対応（いじめ）
第6回：問題行動に対する対応（不登校）
第7回：問題行動に対する対応（非行）
第8回：生徒指導の法的側面（体罰・懲戒の種類・懲戒の手続き）
第9回：生徒指導と地域、家庭、関係機関との連携
第10回：進路指導・キャリア教育の意義と課題
第11回：進路指導・キャリア教育の理論
第12回：キャリア教育のカリキュラム開発と実践的な指導の工夫
第13回：高等学校のキャリア教育（インターンシップの展開と課題）
第14回：高等学校のキャリア教育（生徒理解と自己実現）
第15回：高等学校のキャリア教育（進路相談、キャリアカウンセリング）

（注）項目や順序を入れ替えることがある。

予習・復習

学校の教育現場の諸問題、とくに不登校・問題行動・進路の問題・進学および就職に関して関心を持ち、平日頃から新聞・雑誌・文献・ネットなどを通して知識や情報を得ておくこと。

備考